

## 秦野市廃棄物対策審議会平成26年度第1回会議概要

1 日 時 平成26年8月26日(火)午後2時～午後3時40分

2 場 所 秦野市役所本庁舎3階講堂

3 出席者 13名(欠席者1名)

東海大学教養学部人間環境学科特任教授	原田 一郎 氏
東海大学教養学部人間環境学科准教授	小栗 和也 氏
多摩大学グローバルスタディーズ学部教授	橋詰 博樹 氏
秦野市商店会連合会	中島 正彦 氏
秦野市大型店連絡協議会	東井 保典 氏
神奈川県宅地建物取引業協会	
湘南中支部秦野地区	郡司 文夫 氏
秦野市自治会連合会	有田 圀彦 氏
秦野市PTA連絡協議会	小野寺智美 氏
秦野市農業協同組合	草山美重子 氏
秦野市食生活改善推進団体	古谷 典子 氏
公募市民	小林 裕子 氏
公募市民	大塚満津子 氏
公募市民	松岡 守 氏

### 4 会議概要

#### (1) 秦野市のごみの現状について(報告)

##### ア 委員からの意見1

生ごみ処理機補助金の利用状況について。

##### イ 意見1に対する事務局からの回答

ここ数年は年間約50基程度の補助をしています。今年度からは非電動式生ごみ処理機も補助対象になるように、要綱を改正しました。

##### ウ 委員からの意見2

ディスポーザーの導入及び補助の検討について。

##### エ 意見2に対する事務局からの回答

現在、下水道部と連携し、検討しています。

##### オ 委員からの意見3

下水道の普及率について。

##### カ 意見3に対する事務局からの回答

平成25年度末で84.9%、そのうち水洗化普及率は76.5%となっています。

キ 委員からの意見4

企業へのごみ減量のアプローチについて。

ク 意見4に対する事務局からの回答

事業系で1カ月2トン以上排出する企業に、減量化・資源化計画書の提出を義務付けています。

ケ 委員からの意見5

ペットボトルのベール化、木質系のチップ化について。

コ 意見5に対する事務局からの回答

ペットボトルは、以前まではマルボトルのまま運搬費を支払って処理していました。現在ではベール化し、木質系は以前までは砕いて焼却していたものを、現在はチップ化しそれぞれ資源化しています。どちらも有価での引き取りとなっています。

サ 委員からの意見6

最終処分場への埋め立て量について。

シ 意見6に対する事務局からの回答

次回までに資料を揃えておきます。

ス 委員からの意見7

マルボトルとベール化した時の収支の差について。

セ 意見7に対する事務局からの回答

次回までに資料を揃えておきます。

ソ 委員からの意見8

資源量の増加について。

タ 意見8に対する事務局からの回答

排出抑制が一番重要であります。可燃ごみに混ざっている資源物を適正に出していただければ、資源率は上がると考えています。

チ 委員からの意見9

分別チェックについて。

ツ 意見9に対する事務局からの回答

無作為排出によって分別チェックの実施はしていません。分別ができていない場合は、中身のチェックをしています。

テ 委員からの意見10

全戸個別収集の方向性について。

ト 意見10に対する事務局からの回答

将来的に有料化となった場合、有料化と併せての個別収集導入の可能性の検討はあります。コスト面を考慮し分別の徹底の効果など検討していきたいと考えています。

(2) その他（報告）

ア 今後のスケジュールについて

今年度は2回の審議会開催を検討しています。次回は中間処理施設の見学を11月頃に予定しています。